

Great Dane Society of Japan

G.D.S. 日本グレートデン協会 第81回 本部審査会 開催のお知らせ



一昨年度の第80回開催の折には多数の愛犬家の皆様の御協力を賜り誠にありがとうございました。本年度もGDS本部審査会を開催したく存じます。本年度は米国並びに独逸国より審査員を招待し、審査のみならず勉強会等も開催し昨年度以上に充実した審査会になるかと存じます。

昨年度御参加頂いた方はもとより、初めての方も広く募集致しておりますので皆様奮って御参加頂けますよう重ねて御願い申し上げます。

日本グレートデン協会 本部審査会長 成川 実

日時 : 2006年6月11日(日)

場所 : 栃木県那須高原TOWAピュアコテージ特設会場

HP : <http://www.pure-hotel.jp/>



招待審査員 : ホルスト・ホーレンシュタイナー氏(独逸国)

ホルスト・ホーレンシュタイナー氏はドイツにおいて豊富な繁殖経験と数多くのショーに出陣しておられます。獣医としてドイツ環境庁のもと動物保護の任務に当たられており、同時にドイチェンドッグの特別繁殖審査員やドイチェンドッグ協会のウエストファーレン州理事をなさっておられます。

招待審査員 : フィリップ・J・グレイ氏(米国)

フィリップ・J・グレイ氏は米国GDCA(グレートデンクラブオブアメリカ)ショーで数多くの犬を作出されている現役一流のブリーダーです。2005年度のGDCAナショナルスペシャリティーショーでは優れたBIS犬を輩出されました。



日程 : 2006年6月10日(土)

同時開催予定 両審査員による両国のスタンダード勉強会
前夜祭

2006年6月11日(日)

同ホテル特設会場にて本部審査会開催

出陳・パンフレット広告掲載の宛先 :

日本グレートデン協会 本部事務局

〒310-0804 茨城県水戸市白梅4-1-35

TEL : 029-227-7400 FAX : 029-227-7401

出陳の締め切りは6月1日、

広告締め切りは6月2日です。

Great Dane Society of Japan

G.D.S. 日本グレートデン協会 第81回 本部審査会

開催概要

前夜祭 : 2006年6月10日(土)

審査会 : 2006年6月11日(日)

場所 : 栃木県那須高原TOWAピュアコテージ特設会場

〒325-0398 栃木県那須郡那須町高久乙3375

TEL 0287-78-1164 Fax0287-78-1116

HP : <http://www.pure-hotel.jp/>

出陳料 : 1頭につき ¥15,000

広告掲載料 : 1ページにつき ¥10,000

※審査会終了後の昼食会の費用は含まれません

昼食費は現在¥2,000前後を予定しています

宿泊施設 : 栃木県那須郡那須町 TOWAピュアコテージ
宿泊希望者は各自で上記施設に宿泊予約をお願い致します
また当宿泊施設には、部屋数に限りはありますが
犬と一緒に泊まれる部屋がございます こちらは早期に
予約で埋まる可能性がありますのでご希望の方はお急ぎ
下さい
また宿泊費には朝食・夕食が含まれます
宿泊費用はGDSでは今回皆様の会計をまとめませんので
各自お支払下さい

前夜祭参加の方へ

講習会参加費 : 無料

前夜祭参加費 : 宿泊の方 男性¥ 7,000 女性¥ 5,000

宿泊しない方 男性¥12,000 女性¥10,000

※当施設に宿泊される方は夕食を前夜祭の食事に変更する

扱いとなりますのでその分低額となります

出陳・パンフレット広告掲載の宛先 :

日本グレートデン協会 本部事務局

〒310-0804 茨城県水戸市白梅4-1-35

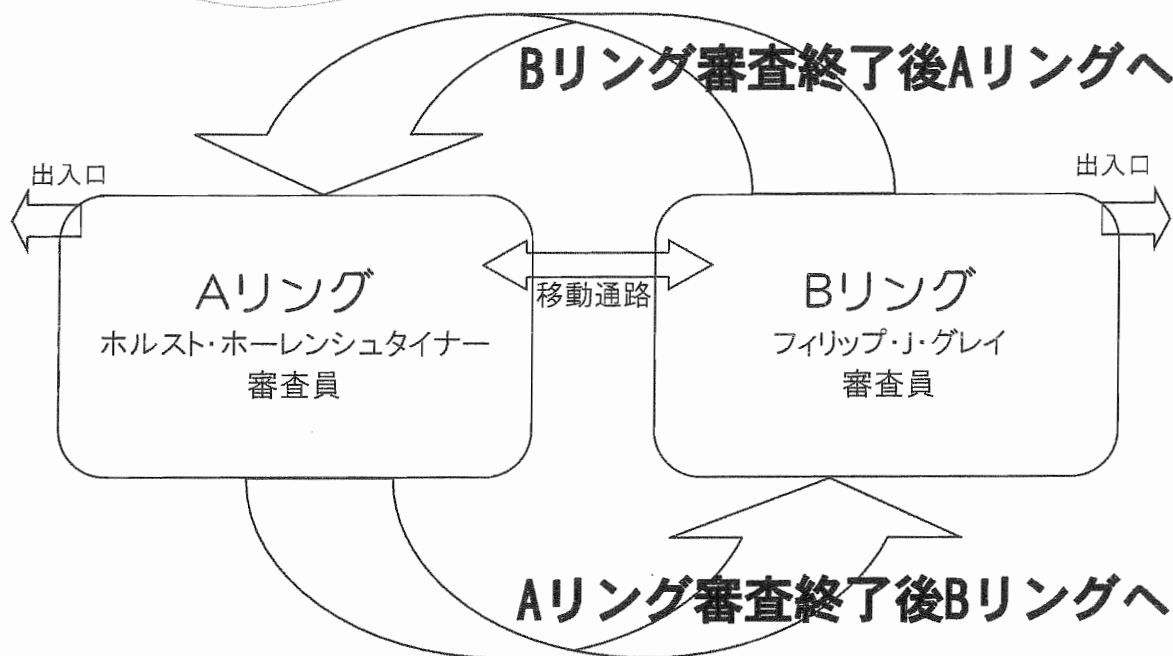
TEL : 029-227-7400 FAX : 029-227-7401

出陳の締め切りは6月1日、

広告締め切りは6月2日必着です

審査手順 1 審査の流れ

第81回日本グレートデン協会 本部審査会は従来までの【1つのリングに1名の審査員】から、【2つのリングで2名の審査員】による審査方式に変わります。今までのものと比べ審査手順が複雑になりますので、良くご覧頂きスムーズに審査が進むよう御協力をお願い致します。



今回の開催では、従来は1つであったリングを2つに増設致しました。それぞれのリングにホーレンシュタイナー審査員、グレイ審査員が入ります。審査員の移動はありません。審査開始は同時刻に始まります。Aリングにパピークラスフーン系牡出陳犬が入ると同時にBリングにパピークラスハルクイン系牡出陳犬が入り、同時に審査が進行して行きます。各リングの出入口から入場して頂き、A・B各リングで各審査員の審査終了後、各リングの出陳犬は「そのまま移動通路を通して逆のリングに入場」して頂きます。つまり始めにAリングで審査を受けた方は、そのリングでの審査終了後Bリングでグレイ審査員の審査を受けて頂きます。逆にBリングから審査が始まった出陳者の方は終了後にAリングに移動して頂きホーレンシュタイナー審査員の審査を受けて頂きます。

各クラスにおいて移動は1度だけです。

Aリングで選出されなかった出陳犬も、Bリングで選出される可能性があります。もちろんその逆もありますが、その場合予選終了後に行われる各クラス選出犬審査に参加して頂きますが、両方の審査員から選出された場合にはその各クラス選出犬審査の時間が重なりますので、一時リングサイドで片方のリングでの選出犬全頭に待機して頂くこととなりますが、本部席よりその旨を放送致しますので審査に遅れたりすることのないようご注意をお願い致します。

審査手順 2 各リングの審査方式

第81回日本グレートデン協会 本部審査会は【2つのリングで2名の審査員】による審査を行います都合上、A/B各リングにおいて異なる審査規定を採用します。特にAリングに関しては従来のGDS審査会とは大きく異なりますのでご注意ください。

Aリング

ホルスト・ホーレンシュタイナー
審査員

・DDC方式での審査

1. ハンドラーによる以下の行為の禁止
A.リード又は手による首の吊り上げ行為
B.出陳犬への姿勢矯正
2. ハンドラー等による以下の行為の許可
A.リング外の第三者からの音・声による
出陳犬の注意を引くための声掛け行為(但し他の出陳者への迷惑にならないと審査員が判断する程度)
B.釣り餌・犬用玩具の使用
3. 審査する上でハンドラーの技量を
加味しない

Bリング

フィリップ・J・グレイ
審査員

・JKC方式での審査

1. ハンドラー等による以下の行為の禁止
A.リング外の第三者からの音・声による
出陳犬の注意を引くための声掛け行為(但しラウンド中の拍手などは不問)
2. ハンドラーによる以下の行為の許可
A.リード又は手による首の吊り上げ行為
B.出陳犬への姿勢矯正
C.釣り餌・犬用玩具の使用
3. 審査する上でハンドラーの技量を
加味する

上記各リングでの規定は出陳犬の出自を問わず「そのリングに出陳する犬全てに適用」するものです。つまり独系の出陳犬がBリングで審査を受ける際にはBリング規定に従って頂くこととなりますし、逆に米系の出陳犬がAリングで審査を受ける際にはAリング規定に従って頂くこととなります。しかしながら従来のスタイルでの審査会を長年出陳者の方々は継続してきたことも考慮し、あまり厳格には適用しない予定であります。Aリングにおいて出陳犬に触ったからと言って注意を促すことはありますが即失格になるという事ではございません。

また項目3の「ハンドラーの技量の考慮」に対してですが、これは両審査員の審査会への取り組みを反映させたものとなっており、ホーレンシュタイナー審査員は審査会の場を出陳犬をあるがまま評価しようという姿勢を、グレイ審査員は審査会はショーであるという点を含めて出陳犬を評価しようという姿勢を反映させたものです。代表的な二国の一般的審査方式の違いをご出陳の皆様楽しんで頂ければと思います。

また今回は欧州で一般的な「審査員による出陳犬評価」を紙面にしてお出陳の皆様にお渡しする予定でございます。審査終了直後にお渡しするのは時間的に厳しいこともあり、全審査終了後に翻訳し、GDS規定用紙に記載した上で皆様にお渡し、或いは郵送させて頂く予定でございます。後日両審査員の評価の違いを楽しんで頂けるかと思っております。